

正誤表

『2024 年度 都道府県 登録販売者試験 過去問題集』及び『解答・解説』に、以下の誤りがありましたので、訂正してお詫び致します。

一般社団法人 日本薬業研修センター

『過去問題集』

【該当箇所】	【誤】	【正】
96 頁〔11〕の表	花粘膜～	鼻粘膜～
195 頁〔7〕の選択肢	※選択肢が抜けていました	1 (a、b) 2 (a、c) 3 (a、d) 4 (b、d) 5 (c、d)

『解答・解説』

【該当箇所】	【誤】	【正】
30 頁〔28〕の解答	<u>4</u>	<u>5</u>
30 頁〔28〕の解説	a 誤 間質性肺炎は、肺の中で肺胞と毛細血管を取り囲んで支持している組織（間質）が炎症を起こしたものである。（気管支又は肺胞が細菌に感染して炎症を生じたものは、通常の肺炎。） b 正 c 誤 医薬品を原因とする喘息は、内服薬のほか、坐薬や外用薬でも誘発されることがある。 d 正	a 正 b 正 c 誤 アスピリンなどの非ステロイド性抗炎症成分を含む内服薬の使用後、短時間（1時間以内）のうちに鼻水・鼻づまりが現れ、続いて咳、喘鳴及び呼吸困難を生じ、時間とともに悪化することがあり、坐薬や外用薬の使用でも、これらの症状が誘発されることがある。 d 正
75 頁〔35〕の解答	<u>4</u>	<u>2</u>
75 頁〔35〕の解説	1 正 2 正 3 正 4 誤 医薬部外品の効能効果「頭皮、毛髪をすこやかに保つ。」や「毛髪にはり、こしを与える。」などであれば、化粧品において表示・標榜することが認められている。	a 正 b 誤 医薬部外品の効能効果の範囲：薬用化粧品類 c 正 d 誤 医薬部外品の効能効果の範囲：育毛剤（養毛剤）
75 頁〔36〕の解答	<u>2</u>	<u>4</u>
75 頁〔36〕の解説	a 正 b 誤 医薬部外品の効能効果の範囲：薬用化粧品類 c 正 d 誤 医薬部外品の効能効果の範囲：育毛剤（養毛剤）	1 正 2 正 3 正 4 誤 医薬部外品の効能効果「頭皮、毛髪をすこやかに保つ。」や「毛髪にはり、こしを与える。」などであれば、化粧品において表示・標榜することが認められている。
87 頁〔19〕の解答	<u>4</u>	<u>解なし</u>
87 頁〔19〕の解説	a 誤 一般用検査薬は、その検査結果のみで自ら確定診断ができないので、判定が陽性であれば速やかに医師の診断を受ける旨が記載されている。 b 正 c 誤 「次の人は使用（服用）しないこと」の項については、使用を避けるべき人について、生活者が自らの判断で認識できるよう記載することとされている。 d 正	ア 正 イ 正 ウ <ウの記述について、「登録販売者試験問題作成に関する手引き」上、正誤の判断が困難であるため、解なしとなった。> エ 誤 有効成分の名称及び分量の記載と併せて、添加物として配合されている成分も掲げられている（人体に直接使用しない検査薬等を除く）。
87 頁〔20〕の解答	<u>解なし</u>	<u>4</u>
87 頁〔20〕の解説	ア 正 イ 正 ウ <ウの記述について、「登録販売者試験問題作成に関する手引き」上、正誤の判断が困難であるため、解なしとなった。> エ 誤 有効成分の名称及び分量の記載と併せて、添加物として配合されている成分も掲げられている（人体に直接使用しない検査薬等を除く）。	a 誤 一般用検査薬は、その検査結果のみで自ら確定診断ができないので、判定が陽性であれば速やかに医師の診断を受ける旨が記載されている。 b 正 c 誤 「次の人は使用（服用）しないこと」の項については、使用を避けるべき人について、生活者が自らの判断で認識できるよう記載することとされている。 d 正
98 頁〔20〕の解答	5	<u>4</u>

(2025 年 4 月 17 日)